

2026年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任		
国語	言語文化	3	1年次	坂井 淳・藤井乙歌・三鹿裕明		
選択するときの条件	1年次に全員共通履修					
使用教科書	(三省堂)精選 言語文化 改訂版	使用副教材	(三省堂)「精選 言語文化 改訂版 学習課題ノート」 (啓隆社)「新国語総合ガイド」 (桐原書店)「基礎から解釈へ 新しい古典文法 四訂新版」「同 演習ノート」 (尚文出版)「必携 新明説漢文 改訂版」「同 漢文ノート」			
科目の目標			道徳教育のねらい			
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。			言葉を通して、人間と人間との関係の中で互いの立場や考え方を尊重し合えるような、道徳的心情や道徳的判断力を養う。			
学習活動内容	育てたい6つの力(資質・能力)					
	1 主体的 学習力	2 基礎力	3 思考・ 分析力	4 発信・ 表現力	5 自己認知 ・協働力	6 計画 実行力
1 古文入門	◎	◎	○			◎
2 文語文法	◎	◎	○		○	○
3 歌物語		○	○	○		
4 随筆		○	◎		◎	
5 日記		○	○	○	◎	
6 古典の詩歌	◎		○	○	◎	
7 近現代の詩歌	◎		○	◎		
8 近現代の詩歌	◎		○	◎		
9 漢文入門	◎	◎	○		○	◎
10 故事成語		○	◎		◎	
11 漢詩	◎	◎	○	◎	◎	○
12 思想			◎	○	◎	
13 文章			○			
14						
15						
16						
17						
18						
評価の観点	知識・技能		思考 判断 表現		主体的に学ぶ態度	
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。		「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、ものの見方、感じ方、考え方を深め、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。	
評価の方法	次の3観点において、各資料をもとに総合的に評価し、5段階の評定をする。また、各観点については、到達度により総合的に評価し、A・B・Cの3段階で評価する。定期考査では「知識技能」を、授業・課題への取組および提出物により「思考・判断・表現」「主体的に学ぶ態度」を評価します。					
	A: 目標に対する到達度が70%~100%		B: 目標に対する到達度が45%~69%		C: 目標に対する到達度が0%~44%	
	教科・科目における各観点	授業での取組	課題への取組	提出物	考査	
	知識・技能	○				◎
思考・判断・表現	◎		○			
主体的に学ぶ態度	○			◎		

言語文化 授業計画

		授 業 計 画			実 施 状 況		
月 (時数)	単元・考査等(配当時数)	学習のねらい	学習内容(配当時間)	単元実施 時数		実施反省	
				書く	読む		
前 期	4 (8)	1 古文入門(古典) 「宇治拾遺物語」 「今昔物語」	古文の世界に触れる意義について考え、言語文化に関心を持つ。 4 説話の内容や構成を的確に捉え、登場人物の心情や展開の面白さを読み取る。	音読・内容理解 歴史的仮名遣い・音読・内容理解	4 4	4 4	
	5 (11)	2 古典文法①(古典) 「十訓抄」	古典文法の基本的な仕組みを理解する。 11	文・文節・単語の区別 品詞の区別 用言(動詞・形容詞・形容動詞)・係り結び	3 8	3 8	
	6 (11)	3 随筆(古典) 「枕草子」 「徒然草」	随筆に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取る 6 5	音読・口語訳・内容理解・用言確認 助動詞(過去・完了・打消)	6 5	6 5	
	前期中間考査(1)					1	
	7 (7)	1 漢文入門(古典) 成句・格言を読む	現代と漢文の世界のつながりを理解し、言語文化に関心を持つ。 4 漢文を読むために必要な訓読のきまりを理解する。	訓読 置き字・再読文字	2 2	2 2	
	8 (6)	2 故事成語(古典) 「戦国策」	故事成語のもとになった漢文を読み、教訓や風刺を読み取る。 3	音読・書き下し・口語訳・背景 句法(否定・禁止・使役・反語)	2 1	2 1	
	9 (9)	3 古典文法②(古典) 4 物語(古典) 「伊勢物語」 5 和歌(古典) 「万葉集」 「古今和歌集」 「新古今和歌集」	古典文法の助動詞について理解する。 2 物語の内容を的確に捉え、登場人物の言動や新し場を読み取り、その認識や人生観について考えを深める。 4 和歌の特徴や表現の技法について理解する。 2 2 2	助動詞(意味・接続・活用) 音読・口語訳・内容理解 用言確認・助動詞(完了・打消・推量・断定) 音読・口語訳・内容理解・和歌の理解 助動詞(意志・伝聞・存続)・音便・不可能	2 2 3 3	2 2 2 3	
	9 (9)	6 漢詩(古典) 唐代の詩 日本の漢詩	漢詩の表現形式や技法について理解する。 5 3	詩型・押韻・対句 訓読・音読・書き下し・口語訳 内容理解・鑑賞	1 3 4	1 2 3	
	前期期末考査(1)					1	
	後 期	10 (12)	1 軍記(古典) 「平家物語」	軍記の内容を的確に捉え、登場人物の言動や心情を読み取り、その認識や人生観について考えを深める。 6	音読・口語訳・内容理解 助動詞(推量・意志・婉曲)・用言の確認(形容詞・形容動詞)・敬語	3 3	2 3
11 (10)		2 小説1(近代) 「羅生門」	作品の構成、場面や状況における登場人物の心情を適切に読み取る。 10	段落分け、場面展開と心理の推移 登場人物の状況からの心理考察 作者の執筆のねらいについての考察	3 6 1	3 6 1	
12 (10)		3 史話(古典) 「十八史略」 「史記」	史話の内容や構成を的確に捉え、登場人物の言動や心情を読み取る。 2 3	訓読・音読・書き下し・口語訳 内容理解・鑑賞	2 3	2 3	
12 (10)		4 思想(古典) 「論語」	学問・人間・政治についての孔子の主張を読み取る。 4	訓読・音読・書き下し・口語訳・内容理解	4	4	
後期中間考査(1)					1		
1 (6)		1 日記・紀行(古典) 「土佐日記」 「奥の細道」	日記・紀行の構成や上層の特色を理解し、和歌・俳諧の表現が果たす役割について考えを深める。 3 3	音読・口語訳・俳諧の鑑賞	6	6	
2 (8)		2 詩(近代)	様々な詩の形式に触れ、描かれた情景や心情を理解する。 6	音読・口語訳・作者について・鑑賞	6	2 4	
2 (8)		3 短歌・俳句(近代)	短歌の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。 4	音読・口語訳・作者について・鑑賞	4	2 2	
後期期末考査(1)					1		
3 (6)		1 古典文法③(古典)	敬語文法の定着と語句の識別を理解する。 3	例文読解・演習	3	3	